

■梁川紅蘭 漢詩人、画家。梁川星巖の妻。夫が隠棲を取り繕って尊撰運動に身を投じるのを支えた。

やながわこうらん

いざノ来航・1804＝ 美濃国安八郡曾根村で、稲津多門長好の娘に生まれる。名は阿景。母は川瀬氏。祖母は名古屋藩士の娘。

優しく琴の上手な母に育てられるが、

浮世床・・・1813＝9歳：

伊能測量終・1816＝12歳：母が死去、

杉田玄白没・1817＝13歳：この年帰郷して塾を開いた詩人で又従兄の梁川星巖(稲津氏)の弟子になり、

水野忠成老中1818＝14歳：

・・・1820＝16歳：星巖と結婚するが、夫は「三体詩」を暗唱するよう言いつけて旅立ち、

膝栗毛終・・・1822＝18歳：*帰宅して出来栄えに感動、紅蘭の号を与えられる。夫がまた旅に出るというので、無理に頼んで同行、山陽道・九州・四国まで3年半にわたり、各地の文学者を訪ね、詩や画を描き謝礼とした。途中紅蘭は故郷が恋しくなり、'さぞ今ごろ家では姉妹がさくらんぼや筍を食卓に載せて団欒しているでしょう'という意味の詩を作る。旅行中に23首の詩を作る。

・・・1826＝22歳：郷里に着くも束の間、

日本外史・・・1827＝23歳：以後、京都の鴨川べりから彦根の間を転々とした後、

富嶽三十六景1831＝27歳：

鼠小僧磔・・・1832＝28歳：江戸に出、

高島砲術・・・1834＝30歳：この年、夫が{玉池吟社}を開いて弟子を養成するが、貧乏暮らし、

大塩平八郎乱1837＝33歳：

勸進帳初演・1840＝36歳：

生活が安定してきたところ、

阿部正弘首座1845＝41歳：夫が突然{玉池吟社}を閉じ、ともに曾根村へ帰るが、

孝明天皇・・・1846＝42歳：再び京都に上って鴨川べりで貧乏暮らし、

北斎没・・・1849＝45歳：*川端丸太町に移住、夫が隠棲を取り繕って尊撰運動に身を投じるのを支えながら、琴に専念、

ペリー来航・1853＝49歳：

蕃書調所・・・1857＝53歳：川端丸太町の家を売り払い、東三本木の{鴨沂水荘}に移住、西郷隆盛ら多くの志士が来訪、

五ヶ国条約・1858＝54歳：*夫が安政の大獄直前コレラにかかり死去。紅蘭を捕え、星巖の同志たちのことを探ろうとした役人に反論、家に飼っている鳩に餌をやるように要求、半年後釈放されると、{鴨沂水荘}で塾を開いて生計を立て、

桜田門外変・1860＝56歳：

夫の詩を出版したりして晩年を送り、

大政奉還・・・1867＝63歳：

明治維新・・・1868＝64歳：

明治6年政変 1873＝69歳：

三つの内乱・1876＝72歳：

沖縄県編入・1879＝75歳：没した。

「群蝶の図」ほか多くの画幅と詩集「紅蘭小集」を遺す。

「人づくり風土記(岐阜)」, 「日本の女性」,